

2024年3月期
第1四半期
決算補足説明資料

株式会社 **日本トリム**
証券コード：6788（東証プライム）

2023年8月8日

四半期
過去最高

売上高

4,796百万円

(前年同期比 10.7%増)

経常利益

592百万円

(前年同期比 9.2%増)

親会社株主に帰属する
四半期純利益

425百万円

(前年同期比 30.1%増)

四半期売上高過去最高、コロナ禍収束によるリアル回帰で販売好調

● 整水器

主軸の職域販売は売上高1,106百万円（前年同期比23.1%増）、卸・OEM部門は売上高303百万円（前年同期比53.5%増）。
コロナ禍収束によるリアル回帰で営業販売活動が活発に。職域セミナー回数は前年同期比16.5%増。

● 浄水カートリッジ

価格改定前の駆け込み需要の反動により、販売本数は微増となるも、価格改定寄与で売上高1,338百万円（前年同期比7.6%増）。

● インドネシア ボトルドウォーター事業

初となるテレビCMやSNSの活用など、次期以降を見据えたマーケティングへの先行投資を積極的に実施。
先行投資により経常損失90百万円（前年同期は77百万円の利益）となるも、期初計画には織り込み済みで、想定通りの進捗。

● 電解水透析

徳洲会グループ湘南鎌倉総合病院、東京ネフロクリニックへ導入。2023年6月末現在 32施設、961床。

● ステムセル研究所

売上高 577百万円（前年同期比17.1%増）、四半期売上高過去最高を更新

2024年3月期 第1四半期 連結業績サマリー

単位：百万円 (百万円未満切捨)	2023年3月 1Q期実績		2024年3月期 1Q実績		増減額	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
売上高	4,332	100.0%	4,796	100.0%	463	10.7%
売上原価	1,350	31.2%	1,401	29.2%	51	3.8%
売上総利益	2,982	68.8%	3,394	70.8%	412	13.8%
販売費及び一般管理費	2,474	57.1%	2,840	59.2%	365	14.8%
営業利益	508	11.7%	554	11.6%	46	9.1%
経常利益	542	12.5%	592	12.3%	49	9.2%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	327	7.5%	425	8.9%	98	30.1%
一株当たり四半期純利益(円)	42.66	—	55.49	—	12.83	30.1%

売上高のポイント

- ・ 四半期として過去最高を更新
- ・ 整水器、CTRの価格改定が寄与
- ・ 整水器は直接・間接販売ともに好調

売上総利益率の主な変動要因

- ・ 整水器、CTRの価格改定 (+)
- ・ 原材料価格の高騰 (-)

販売費及び一般管理費のポイント

- ・ 広告宣伝費 +117百万円
ボトルドウォーター事業のテレビCMなどの先行投資による増加
- ・ 人件費 +95百万円
定期昇給及び人員増、J-ESOPによる株式報酬費用などの増加

2024年3月期 第1四半期 セグメント別売上高

単位：百万円 (百万円未満切捨)		2023年3月 1Q期実績		2024年3月 1Q期実績		増減額	増減率
		金額	構成比	金額	構成比		
ウォーターヘルスケア	(フロービジネス)						
	DS事業部 (職域販売)	898	20.7%	1,106	23.1%	207	23.1%
	HS事業部 (取付・紹介販売)	369	8.5%	374	7.8%	5	1.5%
	SS事業部 (店頭催事販売)	134	3.1%	118	2.5%	△15	△11.7%
	卸・OEM部門	197	4.6%	303	6.3%	105	53.5%
	メンテナンス部門	82	1.9%	83	1.7%	1	1.4%
	リプレイス架電	81	1.9%	75	1.6%	△6	△7.5%
	WEB販売	106	2.5%	103	2.2%	△3	△3.0%
	整水器合計	1,870	43.2%	2,165	45.2%	294	15.8%
	(ストックビジネス)						
	カートリッジ	1,244	28.7%	1,338	27.9%	94	7.6%
	(子会社売上)						
	広州多寧健康科技有限公司	44	1.0%	27	0.6%	△16	△37.6%
PT. SUPER WAHANA TEHNO	412	9.5%	398	8.3%	△14	△3.5%	
(その他)	189	4.4%	228	4.8%	39	20.9%	
小計	3,761	86.8%	4,158	86.7%	397	10.6%	
医療関連	再生医療関連事業	518	12.0%	597	12.5%	78	15.2%
	電解水透析	52	1.2%	40	0.8%	△12	△23.7%
	小計	570	13.2%	637	13.3%	66	11.6%
連結合計		4,332	100.0%	4,796	100.0%	463	10.7%

<日本トリム>

整水器販売

- 全体的に価格改定が寄与
- DS事業部 (職域販売)
職域販売でのセミナー数が増加
- SS事業部 (店頭催事販売)
前期は買替キャンペーンによる
特需があり前年同期比減。6月度
一人当たり受注台数は過去最高
- 卸・OEM部門
既存OEM先の好調に加え、新規
OEM先が稼働
- WEB販売
価格改定前の駆け込み需要反動減

カートリッジ

- 価格改定前の駆け込み需要の反動により販売本数は前年同期比で微増に留まるも、価格改定が寄与し、金額ベースでは+7.6%

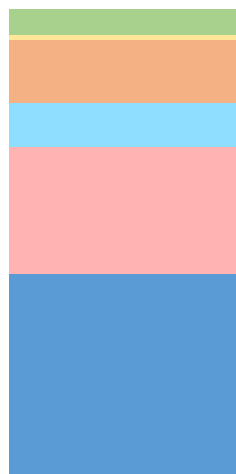
<PT.SUPER WAHANA TEHNO>

ボトルドウォーター事業

- 本年1月より、ペットボトルの新規販売店の獲得及び収益性向上を目的に卸ルートを大幅に変更するも、切り替えに時間を要し、販売が一時的に鈍化 (前年同期比減)

2027年3月期の売上高目標

198億円

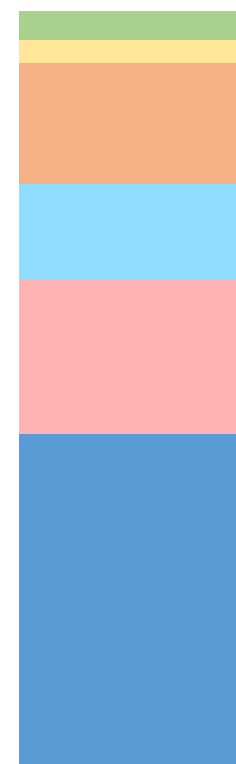


- その他 : 11億00百万円
- 電解水透析 : 2億00百万円
- 再生医療関連 : 26億10百万円
- インドネシア : 18億80百万円
- カートリッジ : 53億40百万円
- 整水器 : 86億70百万円

2024年3月期計画



320億円



- その他 + 新規分野 : 14億円
- 電解水透析 : 10億円
- 再生医療関連 : 51億円
- インドネシア : 40億円
- カートリッジ : 65億円
- 整水器 : 140億円

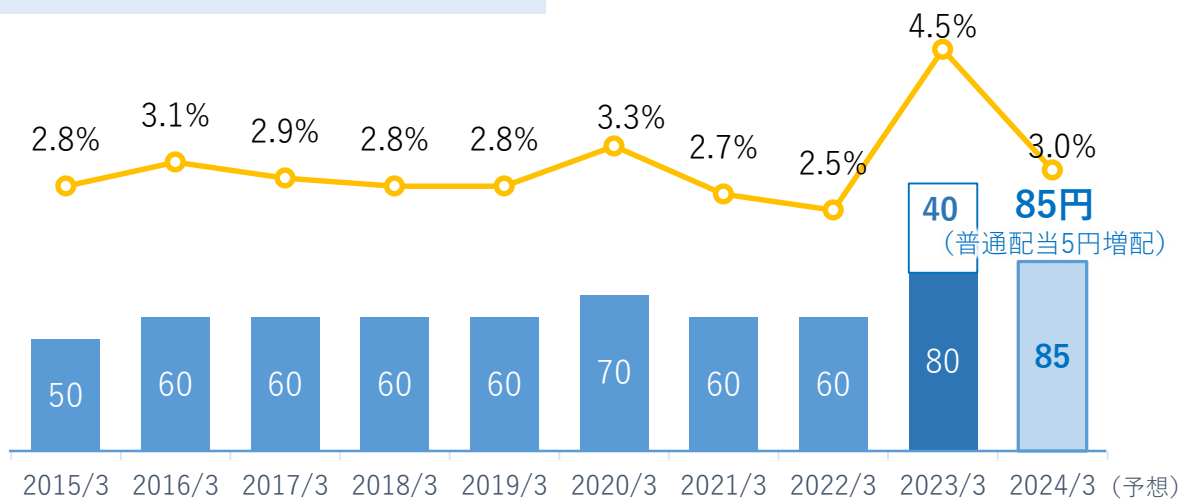
2027年3月期

資本政策の基本方針

- 1 資本効率性の向上 目標指標：ROE 10%以上
- 2 株主還元の強化 基準：DOE 3%
- 3 財務健全性の維持

※ ROE（自己資本利益率） ※ DOE（株主資本配当率）= ROE × 配当性向

配当金額・DOEの推移



2024年3月期
期末配当予想

85円

40周年記念配当を
除いて5円増配

DOE 3.0%

配当性向 34.8%

※ 会社予想ベース

株主優待制度

弊社商品 30%オフ

ROEの推移

2023年3月期
(実績)
8.1%

2024年3月期
(目標)
8.7%

本資料で記述されている業績予想ならびに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。